

Coffee & Hot Drink Maker
コーヒー&ホットドリンクメーカー
SS-6BKJ/SS-6WJ

取扱説明書



※ 写真はイメージです

保証書付

このたびはクイジナート コーヒー&ホットドリンクメーカー SS-6BKJ/SS-6WJ をご購入いただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は本機のそばなど、いつもお手元においてご使用ください。

本製品は日本国内専用に設計されていますので、国外での使用はできません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

もくじ

安全上のご注意.....	1～3
使用上のご注意.....	4
各部のなまえ	5
ご使用前のクリーニング	6
コーヒーや紅茶などを抽出する（フィルターカップ）.....	7～8
コーヒーを抽出する（K-Cup [®] カプセル）.....	9～10
お手入れの仕方.....	11～12
故障かなと思ったら	13
保証とアフターサービス	14
仕様.....	裏表紙

安全上のご注意 **必ずお守りください**

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

本文中の絵表示の意味

図の中や近傍に具体的な指示／禁止内容が表記されています。



△は、注意（警告を含む）を示します。



⊘は、してはいけない「禁止」の内容です。



●は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

※ 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告



絶対に分解・修理・改造は行わない。

発火したり、異常作動をしてけがをするおそれがあります。



本体を水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電の恐れがあります。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。

感電の恐れがあります。



電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

● コード・プラグの修理は販売店にご相談ください。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災の原因になります。

交流100Vの電源以外では使用しない。

火災・感電の原因になります。



15A以上のコンセントを単独で使用する。

他の器具と併用した分岐コンセントは異常発熱して発火することがあります。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・緩んだコンセントは使わないでください。

異常・故障時には、直ちに使用を中止する。

そのまま使用すると、火災・感電・けがのおそれがあります。



本体を水洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。

ショート・感電のおそれがあります。



使用中や使用後しばらくは抽出ヘッド、抽出ホルダー、カプセルホルダー、フィルターカップ、抽出口などの高温部に触ったり、顔を近づけない。また、抽出ヘッドは開けない。

やけどをするおそれがあります。特に乳幼児にはさせないようにしてください。



当社が推奨または販売していない付属アタッチメントを使用しない。

火災・感電・けがの原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告



子どもなど取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない。

やけど・感電・けがの原因になります。

⚠ 注意



タコ足配線はしない。

火災の原因になります。

倒したり落したりぶつけたり、強い衝撃を与えない。

故障や、水タンク、水タンクカバーなどが破損してけがをするおそれがあります。

カップなどを置いたまま、本体などを動かさない。

やけどの原因になります。

不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。

火災の原因になります。

壁や家具の近くでは使わない。

蒸気や熱で家具や壁を傷め、変色・変形の原因になります。

抽出口の下にカップなどを置いていない状態で抽出しない。

やけどの原因になります。



電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして発火することがあります。

持ち運ぶ際は、水タンクを空にしてから行う。

水タンクが落下しケガや、水タンクの破損の原因になります。



お手入れは必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う。

感電ややけどをすることがあります。

● 持ち運びや取り外しも本体が冷えてから行ってください。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いておく。

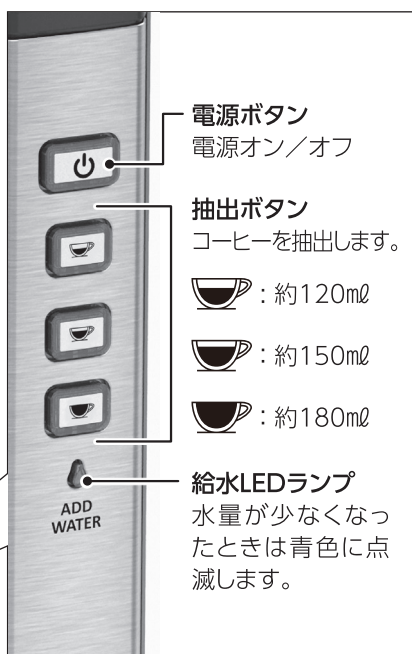
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

使用上のご注意

- 火気の近くでは使わないでください。(熱によって変形し、故障の原因)
- コンロやオーブンの近くなど高温になる場所に置かないでください。(熱によって変形し、故障の原因)
- 使用後はカプセルホルダーを洗浄し、ドリフトレーは定期的に洗浄してください。
- 開閉ハンドルや抽出ヘッド、抽出ホルダーを持って移動しないでください。(故障の原因)
- 水以外の液体（お湯、ミルク、酒など）を水タンクに入れないでください。(故障の原因)
- 水は常に新しいものを使用してください。
- 長期間お使いにならないときは、水タンクを空にし、本体内部を乾燥させてください。
- 水タンクを外すときは、水タンクの底に付着した水が落ちることがありますので、注意してください。
- 凍結するおそれのある場所に保管しないでください。(凍結による故障の原因)
- 温度の低い場所に保管していた場合は、2 時間程度あたたかい室内に本機を置いてからご使用ください。
- 屋外では使わないでください。

各部のなまえ

1. 水タンクカバー
2. 水タンク（着脱式・容量約1500mℓ）
3. 開閉ハンドル
持ち上げると抽出ヘッドが開きます。
4. 抽出ヘッド
5. 抽出ホルダー
カプセルホルダーまたはフィルターカップをセットします。
6. 抽出口
7. ドリッププレート
8. ドリフトレー
9. カプセルホルダー
K-Cup®をセットします。
10. フィルターカップ
※ 写真にはありません。



自動オフ機能

安全のため、30分以上操作がない場合は電源が自動的にオフになります。電源ボタンを押すと再度電源オンになります。

ご使用前のクリーニング(湯通し)

はじめてご使用になるときには、抽出前に次の手順にしたがってクリーニングをしてください。

● クリーニングするときは、カプセルホルダーまたはフィルターカップを抽出ホルダーに入れないでください。

1 本体から水タンクを取り外し、洗います。

水タンクをまっすぐ持ち上げて外し、台所用洗剤とお湯で洗い、よくすすぎます。

2 水タンクの MAX (最大) 水位目盛まで水を入れ、本体に取り付けます。



3 ドリフトレーにドリフトプレートがセットされていることを確認してから、ドリフトプレートにマグカップを置きます。

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押して電源をオンにします。



5 開閉ハンドルを上げて抽出ヘッドをいったん開け、閉め直します。

K-Cup®カプセルまたはフィルターカップは入れないでください。



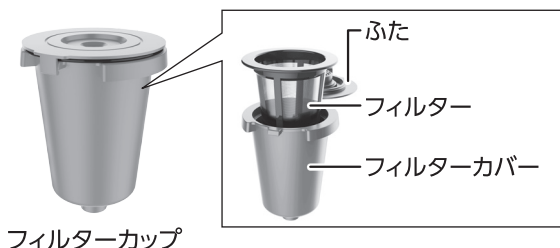
6 (約150mℓ) ボタンを押します。ランプが点滅し、すぐにお湯が出てきます。

7 お湯を捨てます。

これで初回のクリーニングは完了です。コーヒーを淹れる準備ができました。

コーヒーや紅茶などを抽出する(フィルターカップ)

フィルターカップを使用すると、お好みのコーヒー豆や、紅茶、お茶などを抽出することができます。



フィルターカップ

1 抽出前の準備をします。(9 ページ **1** ~ **3** 参照)

2 フィルターをフィルターカバーにセットします。

3 フィルターに挽いたコーヒー豆または紅茶などの茶葉を入れます。

- 挽いたコーヒー豆や茶葉を押し込まないでください。
- フィルターの上縁にコーヒーの粉や茶葉が残らないようにしてください。

[コーヒー・茶葉などの最大量]

種 類	最 大 量
挽いたコーヒー豆	約12g (ティースプーン約8杯)
煎茶・茎茶	約6g (ティースプーン約2.5杯)
玄米茶	約6g (ティースプーン約3杯)
ほうじ茶	約4g (ティースプーン約4杯)
紅茶(大きめリーフ)	約6g (ティースプーン約4杯)
紅茶(小さめリーフ)	約8g (ティースプーン約4杯)

お願い コーヒー豆の細挽きの粉は、カプセルからあふれ出る恐れがあるため、中挽きの粉をご使用ください。

- 最大量はコーヒー・茶葉の種類によって多少異なりますので、お好みに合わせてご調整ください。
- インスタントコーヒーは使用できません。

4 フィルターカップのふたを閉じます。

5 ドリップトレイにドリッププレートがセットされていることを確認し、ドリッププレートの中央にマグカップを置きます。

- ドリッププレートやトレイを取り外すと、トラベルマグなど背の高いものを置くこともできます。

- 6** 開閉ハンドルを持ち上げて抽出ヘッドを開け、カプセルホルダーを取り外します。



- 7** 抽出ホルダーにフィルターカップをセットします。
フィルターカップは、押し込んで取り付ける必要はありません。

- 8** 抽出ヘッドを閉じます。



- 9** コーヒーカプセルと同じようにお好みの量のボタンを押し、コーヒーまたは紅茶などを抽出します。
(5ページ 抽出ボタン 参照)

- 10** 抽出後は開閉ハンドルを持ち上げ、抽出ホルダーからフィルターカップを取り出します。

⚠ 注意

フィルターカップが熱くなっていますので
やけどにご注意ください。

カプセルホルダーを戻すには

カプセルホルダーの縁にある矢印を抽出ホルダーの矢印と合わせ、軽く押しではめ込みます。



- 11** 使用後は、フィルターカップ内のコーヒーや茶葉などを捨て、洗浄します。

- フィルターカップ内の使用済のコーヒーや茶葉などの廃棄は、各地方自治体の廃棄区分に従ってください。
- 洗浄後は、水分を拭き取るか、十分に乾かしてください。

コーヒーを抽出する (K-Cup[®] カプセル)

本製品は、K-Cup[®]カプセルに対応しています。

- 1** 水タンクを取り外して MAX（最大）水位目盛まで水を入れます。

- 2** 水タンクを本体に戻します。



- 3** 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押します。

電源ボタンと抽出ボタンが点灯します。

- 4** ドリフトレーにドリッププレートがセットされていることを確認し、ドリッププレートの中央にマグカップを置きます。

- ドリッププレートやトレイを取り外すと、トラベルマグなど背の高いものを置くこともできます。



- 5** 抽出ヘッドを開け、カプセルホルダーに K-Cup[®] をセットします。

- K-Cup[®] のふたを剥がしたり、穴を開けたりしないでください。



注意

カプセルホルダーにはカプセルに穴を開けるため上下に2本の鋭い針があります。ケガを防ぐため、カプセルホルダーに指を入れないでください。



※ 写真はイメージです

- 6** 抽出ヘッドを閉じます。

7

お好みの量の抽出ボタンを押します。

抽出ボタンを押すと、コーヒーが注がれます。

抽出中は選択したボタンが点滅します。

- 抽出を中断するときは、選択した抽出ボタンを再度押します。
- 給水LEDランプが点滅している場合は、抽出できません。水タンクに水を入れてください。

抽出が終わるとすべてのランプが点灯します。



抽出ボタン

 : 約120ml

 : 約150ml

 : 約180ml



注意

抽出中は、カプセルホルダーに熱湯が溜まります。やけどを防ぐため、抽出中は開閉ハンドルを持ち上げて、抽出ヘッドを開けたり、水タンクを取り外したりしないでください。

8

抽出後は開閉ハンドルを持ち上げ、使用済のカプセルを取り出して廃棄します。

- K-Cup[®]の廃棄については、各地方自治体の廃棄区分に従ってください。



注意

抽出直後は、K-Cup[®]やカプセルホルダーが熱くなっていますので、やけどにご注意ください。

9

使用後はカプセルホルダーを取り外し、洗浄します。

- カプセルホルダー内部の鋭い針にご注意ください。
- 洗浄後は水分を拭き取るか、十分に乾かしてください。

10

抽出ヘッドを閉じます。

11

続けて抽出をする、または電源ボタンを押して電源を切ります。

抽出が終わるとすべてのボタンが点灯し、次の抽出ができるようになります。抽出しない場合は電源を切ります。

お手入れ

本体外側

各部が十分に冷めてから行ってください。

湿らせた柔らかい布にうすめた台所用洗剤を付けてお手入れします。

- 研磨性の布やスチールたわし、スポンジの硬いナイロン面は使用しないでください。
- 食器洗淨乾燥機や熱湯は使用しないでください。

ドリッププレート／ドリップトレイ

本体から外して、台所用洗剤とスポンジで洗います。

- スチールたわしやスポンジの硬いナイロン面など、研磨性の素材は使用しないでください。
- ドリップトレイは持ち上げるだけで外れますが、残液がこぼれないよう水平にして外してください。
- 食器洗淨乾燥機もお使いいただけます。

カプセルホルダー／ファンネル部

台所用洗剤とスポンジで洗います。

- 食器洗淨乾燥機もお使いいただけます。

カプセルホルダーの取り外し方法

- ① 開閉ハンドルを持ち上げ、抽出ヘッドを開きます。
- ② カプセルホルダーの上部を持って取り出します。



注意

カプセルホルダーにはカプセルに穴を開けるため上下に2本の鋭い針があります。ケガを防ぐため、カプセルホルダーに指を入れないでください。

ファンネル部のお手入れ

ファンネル部の取り外し／取り付け方法

カプセルホルダーの下部をひねって取り外します。

ファンネル部を取り外すときは、最初の数回は固めですが異常ではありません。

何回か行くと取り外しやすくなります。

取り付けるときは、ファンネル部のツメとカプセルホルダーのくぼみを合わせてカチッと音がするまで押し込みます。

抽出口のクリーニング

抽出口が詰まってしまった場合、細い針金（ゼムクリップなど）でクリーニングします。

ファンネル部の抽出口に針金を差し込み、詰まっているものを取り除きます。



穴あけ針



穴あけ針は、抽出ヘッドの内部にあります。詰まってしまった場合、細い針金（ゼムクリップなど）を差し込み、詰まっているものを取り除きます。

水タンク

水タンクは、使用していくうちに、水に含まれるミネラル分（カルシウム・マグネシウムなど）により退色、シミ、汚れが生じることがありますが、異常ではなく、本製品の性能にも影響しません。ただし、最小限にとどめるため、定期的に水タンク内部を糸くずの出ない布で水拭きしたり、軽く水ですすいでください。

水垢の洗浄

お住まいの地域の水質により、ミネラル分（カルシウム・マグネシウムなど）が製品内に付着することがあります。

これは水垢と呼ばれるもので人体には無害ですが、抽出性能を低下させますので、3～6ヶ月ごとに水垢の洗浄をすることをお勧めします。

- 水垢がつきやすい場合は、除去する頻度を増やしてください。
- 電源オン時にすべてのランプが順に点滅する場合は、水垢の洗浄が必要なことを示しています。

用意するもの

- ・ 酢 400ml
- ・ 容量500ml以上の耐熱性カップ（紙コップは使用しない）
- ・ 水 800ml

1 酢で洗います。

- ① 水タンクに酢400mlと水800mlを入れます。
- ② 耐熱性カップをドリッププレートに置きます。
ドリッププレートはあらかじめドリップトレーにセットしておきます。
- ③ 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押して電源をオンにします。
- ④ 電源ボタンと （約120ml）ボタンを同時に2秒間長押しします。
- ⑤ 酢溶液が出たら、カップの中身をシンクに捨てます。
- ⑥ 給水ランプが点灯するまで④～⑤を繰り返します。
- ⑦ 水垢の洗浄が完了すると、すべてのLEDランプが点灯します。
- ⑧ 残りの酢溶液はすべてシンクに捨てます。

2 水ですすぎます。

水タンクに水をMAX（最大）水位目盛まで入れ、酢の代わりに水だけを使用して、手順 **1** の④～⑤を3回繰り返します。
酢の匂いが気になる場合は、水だけで手順 **1** をさらに数回繰り返してください。

故障かなと思ったら

次の点検をしていただき、それでもなお異常のあるときは事故防止のため使用を中止し、お買い上げの販売店、または修理ご相談窓口にご相談ください。

お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは絶対にしないでください。

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
飲み物が抽出されない。	水が少ない	水をMIN (最少) 水位目盛以上入れてください。
	抽出ヘッド内部の穴あけ針が詰まっている	穴あけ針をクリーニングしてください (12ページ参照)。
	抽出ヘッドが開いている	抽出ヘッドを最後までしっかりと閉めてください。
	その他	電源をオフにしてコンセントから電源プラグを抜き、30秒以上待ちます。 再び電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにしてください。
飲み物の抽出量が少ない。	抽出ヘッド内部の穴あけ針が詰まっている	穴あけ針をクリーニングしてください (12ページ参照)。
	カプセルホルダーの抽出口が詰まっている	カプセルホルダーをクリーニングしてください (11ページ参照)。
	水垢がたまっている	水垢を除去してください (12ページ参照)。
	その他	電源をオフにしてコンセントから電源プラグを抜き、30秒以上待ちます。 再び電源プラグをコンセントに差し込み、電源をオンにしてください。
飲み物が薄い、水っぽい。	お湯の量が多い	少量の抽出量で試してください。
電源を入れるとすべてのランプが順に点滅する。	水垢がたまっている	水垢を洗浄してください (12ページ参照)。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談はまず、
お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は当社「修理センター」へ
- 使い方・部品・ご購入などのお問い合わせは、
当社「カスタマーサービス係」へ

保証書(裏表紙をご覧ください)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い
上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあ
と保管してください。

保証期間：お買い上げ日から

本体1年間 ※付属品の保証はございません。

補修用性能部品の保有期間

当社では本製品の補修用性能部品(商品の機能を維持す
るために必要な部品)を製造打ち切り後、最低5年間保有
しています。

修理を依頼されるとき

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理受付させ
ていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えて
ご持参ください。なお、直接当社修理センター、当社カスタ
マーサービス係に送付した場合の送料はお客様負担となります。
確認のため、修理内容を事前に当社修理センターまでご連絡く
ださることをお勧めいたします。

●保証期間を過ぎているときは

ご要望により有償修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	コーヒー&ホットドリンクメーカー
品番	SS-6BKJ/SS-6WJ
お買い上げ日	年 月 日
故障の原因	できるだけ具体的に

コンエアージャパン合同会社 お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は、製品名・品番をご確認のうえ下記窓口へ

修理ご相談窓口

コンエアージャパン 修理センター



0120-137-240

受付時間：9:30～18:00

(土・日・祝祭日・年末年始などの長期連休をのぞく)

修理品のお送り先は修理センターでの受付時にご案内申し上げます。

使い方・部品・保証などのご相談窓口

コンエアージャパン カスタマーサービス係



0120-191-270

受付時間：9:00～12:00 13:00～17:30

(土・日・祝祭日・年末年始などの長期連休をのぞく)

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い

コンエアージャパン合同会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

仕 様

品名: コーヒー&ホットドリンクメーカー
形名: SS-6BKJ/SS-6WJ

電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1000W
抽出方式	ドリップ式
容 量	約1.5L
質 量	約2.8kg
外形寸法	幅約 185mm × 奥行 300mm × 高さ 310mm
電源コードの長さ	約1.5m (有効長)

※製品のデザインは改善のため予告なく変更することがあります
※製品の色は印刷物と比較して実際の色と少し異なる場合があります
※イラストは簡略化して表現してあるため製品と多少異なります

愛情点検



長年ご使用のコーヒー&ホットドリンクメーカーの点検を！

こんな症状はありませんか？

- ご使用中、コード・電源プラグが異常に熱くなる。
- コードを折り曲げると通電したりしなかったりする。
- 通電中に異常な音ができる。
- その他の異常・故障がある。

使用中止

電源プラグを抜き、故障や事故防止のため、販売店、または当社まで点検・修理をご相談ください。

IB-SS6J-01-1608